

I P P N W 講演会

日 時 平成8年6月29日(土) 17:00

場所 広島医師会館 6階 第1会議室

プログラム

17:00 開 会

ご挨拶
主旨説明
講演者紹介

17:05 「核兵器廃絶への具体的措置」 黒澤 満先生

座長 真田幸三(広島市医師会長)

17:55 「核兵器廃絶を阻むもの -核兵器の特質と廃絶への合意-」
森 一久先生

座長 福原照明(広島県医師会長)

主催 I P P N W 広島県支部

「核兵器廃絶への具体的措置」

プロフィール

黒澤 満 (くろさわ みつる) 大阪大学大学院国際
公共政策研究科教授
昭和20年1月17日生(1945年)

学 歴・学 位

1967年 大阪大学文学部卒業
1968年 大阪大学法学部卒業
1971年 大阪大学大学院法学研究科修士課程修了
1974年 大阪大学大学院法学研究科博士課程単位
取得
1993年 博士(法学) (大阪大学)学位取得

職 歴

1976年 新潟大学法学部講師
1978年 新潟大学法学部助教授
1984年 新潟大学法学部教授
1991年 大阪大学法学部教授(1994年から兼
任)
1994年 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授
(現在に至る)

所属学会

国際法学会
日本平和学会
世界法学会
日本国際政治学会
日本カナダ学会

核廃絶への具体的措置

1996.6.29 IPPNW講演会

大阪大学 黒沢 満

はじめに——冷戦後の核軍縮状況

I. CTBT (包括的核実験禁止条約) の意義

1) 前文——核兵器全廃へのコミットメント

2) 禁止の範囲——小規模核爆発、流体核実験、平和目的核爆発 (PNE)

未臨界実験、シミュレーション

3) 機構 (CTBTO) ——執行理事会の構成および権限、技術事務局の権限

4) 検証——検証手段/自国の検証技術手段 (NTM)

現地査察・チャレンジ査察の手続、執行理事会の関与

5) 条約の発効条件——参加の普遍性VS条約の早期の発効

5核兵器国、+3敷居国、単純な一定数、条件の放棄

II. 兵器用核分裂性物質の生産停止 (カットオフ)

NPT再検討・延長会議「核不拡散と核軍縮の原則と目標」

概念の混乱、検証の範囲、中国・インド

米ロ二国間 (+英仏) 条約

III. 戦略兵器の一層の削減

START II条約の批准、START III交渉の開始、5核兵器国による交渉

IV. 非核兵器地帯の設置

ラテンアメリカ、南太平洋、アフリカ、東南アジア

旧ソ連諸国、中東欧、東北アジア

V. 核兵器の使用禁止

消極的安全保障 (NSA)、核兵器の先制不使用

VI. 解体核兵器の安全な管理

IAEA保障措置の強化、輸出管理

「核兵器廃絶を阻むもの -核兵器の特質と廃絶への合意-」

プロフィール

森 一久(もり かずひさ) 日本原子力産業会議専務理事

大正15年1月17日生(1926年)

出生 広島市

学 歴

昭和19年 9月 広島高等学校理科卒

昭和23年 3月 京都大学理学部物理学科卒

職 歴

昭和23年 4月 中央公論者入社

昭和31年 4月 電源開発(株)入社

昭和31年 5月 (社)日本原子力産業会議入社(40年3月までは兼務)

昭和38年-40年 東京12チャンネル(テレビ東京)編成部長(兼務)

昭和44年 4月(社)日本原子力産業会議 専務局長

昭和58年 6月 同 専務理事(現在に至る)

兼 職

(財)日本原子力文化振興財団 副理事長

(財)原子力安全研究協会 理事

(財)温水養魚開発協会 常務理事

(財)海洋生物環境研究所 評議員

(財)第五福竜丸平和協会 評議員

その他

公 職

原子力委員会 専門委員

原子力安全委員会 専門委員

科学技術庁 国際問題検討会委員 他

通商産業省 高レベル放射性廃棄物処分対策委員会委員

その他